

報 道 各 位

一般社団法人日本船用工業会

**次世代海洋エンジニア会二期生 第 4 回交流会を実施**  
**- これまでの集大成となる成果報告会を実施 -**

今般、当会会員企業における若手技術者の人材育成の一環として、「次世代海洋エンジニア会二期生 (NGMEA 2<sup>nd</sup> gen : Next Generation Marine Engineer Association)」の第 4 回交流会を、11 月 22 日に成果報告会として実施した。本事業では、同一メンバーの参加を前提に、海運・造船・船用・船級・金融・保険・団体より 43 社 56 名の参加の下、1 年間で計 4 回の交流会を実施した。

本事業は、平成 30 年 10 月に当会技術開発戦略検討委員会で取り纏めた「今後の技術開発事業のあり方」において、今後の船用工業を支える若手技術者職員の、①技術者としての能力向上・育成、②海事クラスター内の技術者の交流・ネットワーキングの構築、③異分野の技術者との交流を通じた意識改革、④異分野と連携した新しい発想に基づく製品開発の機会の創出が必要とされたことを受けて、10 年後を見据えた各社の将来を担う優秀な若手技術者間の深い交流を築く機会を提供することを目的としている。

第 4 回交流会では、業界経営層・参加者上長を 41 社 56 名、来賓として招き、参加者 56 名が 10 チームに分かれ「社会課題の解決を前提としたアイデア発想」をテーマに検討を進めてきたアイデアのピッチ発表、ポスターセッションを実施し成果報告を行った。ポスターセッションではポスター展示とデモ機展示を行い、来賓と参加者間で活発なディスカッションを行う姿が見て取れた。参加者にとって、来賓からの直接的なフィードバックを得ながら、様々な業界経営層の視点を学ぶ貴重な機会となった。

下記評価ポイントに基づき来賓による投票を行い、以下の結果となった。

【評価ポイント】

①	我が国海事産業の発展及び国際的な競争力向上に寄与する取組みとなっているか。
②	社会課題を的確に捉え、具体的な解決策となっているか。
③	海事クラスターそれぞれに Win-Win となる取組みとなっているか。
④	仮説検証によって実現可能性を示せているか。

【投票結果 (上位 3 チーム)】

1 位	これがホントの宇宙船!? 宇宙太陽光発電で無限に走る未来の船
2 位	アーム付きバージとリモート操作で港湾制限無しで荷役作業を実現
3 位	バラスト水を真水に ~途上国の水不足へのアプローチ~

今回で二期プログラムは終了となるが、来年度より三期生の募集を行い、継続的に事業運営を行っていく予定としている。

1. 実施期間：令和6年11月22日（金）
2. 研修場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋
3. 参加者：42社54名（50音順）

(株)赤阪鐵工所、潮冷熱(株)、(株)宇津木計器、(株)MTI、(株)大島造船所、  
 (株)カシワテック、神奈川機器工業(株)、川崎汽船(株)、川崎重工業(株)、(株)京泉工業、  
 (株)ササクラ、(株)サンフレム、(株)商船三井、商船三井テクノトレード(株)、  
 第一中央汽船(株)、大晃機械工業(株)、ダイハツディーゼル(株)、(株)田邊空気機械製作所、  
 (株)帝国機械製作所、東京海上日動火災保険(株)、東京計器(株)、(株)中北製作所、  
 ナブテスコ(株)、西芝電機(株)、(一財)日本海事協会、日本シップヤード(株)、  
 (株)日本政策投資銀行、(一財)日本造船技術センター、バルチラジャパン(株)、  
 阪九フェリー(株)、阪神内燃機工業(株)、BEMAC(株)、ヒエン電工(株)、  
 (株)日立ニコトランスミッション、(株)福井製作所、古野電気(株)、ボルカノ(株)、(株)MarineSL、  
 三浦工業(株)、三菱重エマリンマシナリ(株)、明陽電機(株)、ヤンマーパワーテクノロジー(株)

5. 実施内容

	プログラム	内容
第4回 (成果報告会)	ピッチ発表	班毎に5分以内でピッチ発表を行う。
	ポスターセッション	パネル及びデモ機の見学を行う。また、評価者による採点をもとに順位付けも行う。
2024年 11月	表彰式・祝賀会	採点結果をもとに、上位3チームの表彰立食形式で、参加者及び来賓間の交流を促す。

(事務局問合せ先)

技術部 三田村/和間 TEL: 03-3502-2041 E-mail: mitamura@jsmea.or.jp

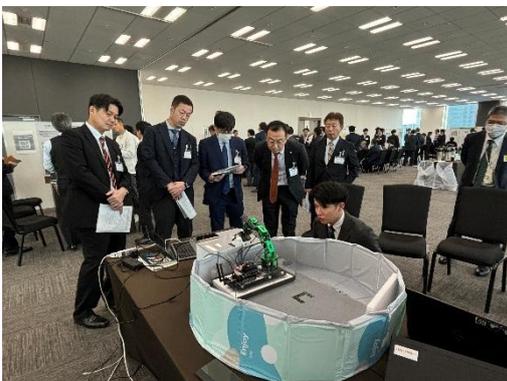
以上



ピッチ発表の様子



ポスターセッション（ポスター説明）



ポスターセッション（デモ機展示）



表彰式・祝賀会



集合写真